

カブスカウトについて

カブスカウト教育のねらい

カブスカウト活動は、児童期におけるギャング年代の少年達の発達に応じて、必ず身につけるとよい特質、すなわち、よい社会人としての基本を修得させ、それを次の成長段階であるボーイスカウトへつなげていくことを目指すものです。

このカブスカウト活動のねらいをさらに具象化し、この活動の理解をさらに深めていただくために、次のようにカブスカウト活動の目標が設けられています。これは、言い換えればカブ年代の少年達が、スカウトとしてより望ましい成長発達をするための活動の方向づけであるとともにプログラムの要素を示すものです。

カブスカウト活動の目標

- ☐ 神（仏）をうやまい、自分への責任を認識させる
- ☐ 自然に親しみ愛護する心を育てる
- ☐ 小グループの中で、相互に影響し合う機会を提供する
- ☐ 所属意識を伸ばし、目的を達成した時の充実感を感じさせる
- ☐ 自ら考えを判断し、決断する力を養う
- ☐ 健康と安全について認識させる
- ☐ 好奇心と冒険心を満足させる
- ☐ 体の動きを高め、創造力を伸ばす
- ☐ 体験を通じて学ばせる
- ☐ フェアプレイの精神と正義感を養う
- ☐ 愛と感謝の心を育てる

カブスカウト活動とは

カブスカウト活動は、ボーイスカウト運動の一貫した教育の中でギャングエイジと呼ばれる児童期中期（小学校3年から5年）の少年を対象とした異年齢グループの教育活動です。

その中で、カブスカウトは、次のように区分されています。

- ・ 小学校2年9月から うさぎの課程
- ・ 小学校3年9月から し かの課程
- ・ 小学校4年9月から く まの課程

ボーイスカウト運動は、社会に貢献する有能な国際人を育てるわけですから、児童期だけでなく、「富士」の高嶺を目指して、ボーイスカウトに、ベンチャーに、そしてローバーへと上進することに意義があります。

カブスカウト活動の要素

- ①少年のニーズにあったカブスカウト活動の目標にかなった活動（プログラム）
- ②この年代の少年の自然な状態にもっとも近い組織
- ③保護者との協働により、地域ぐるみで良い環境を作り出していくこと

です。そして少年達自身が自らの体験を通して伸びるよう、野外の自然や「集団」を利用します。間違えてはならないのは、カブスカウト活動が団体訓練だと思ってしまうがちなことです。